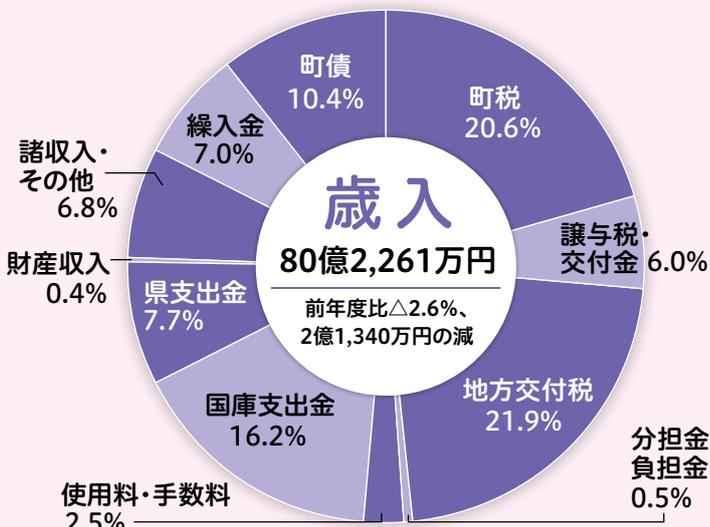


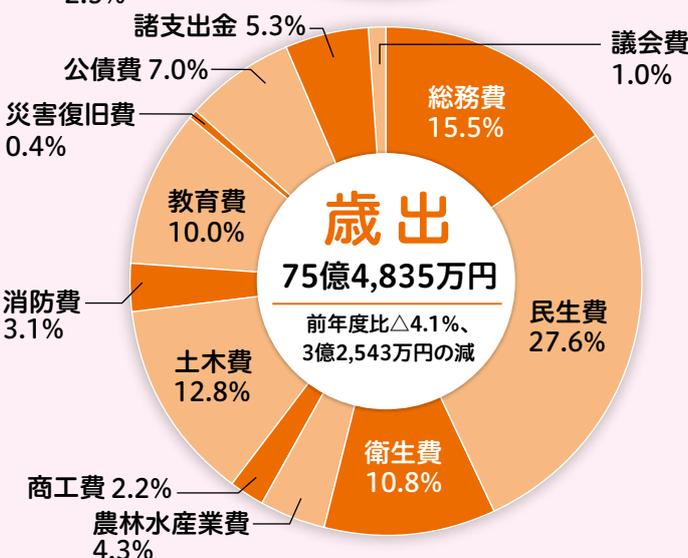
# 令和4年度 決算報告

10月の定例町議会で承認されました  
令和4年度決算のあらましについて  
お知らせします。

一般会計歳入		R4決算額
町 税	16億5,295万円	
譲与税・交付金	4億7,698万円	
地方交付税	17億5,756万円	
分担金・負担金	3,860万円	
使用料・手数料	1億9,834万円	
国庫支出金	12億9,794万円	
県 支 出 金	6億2,013万円	
財 産 収 入	3,308万円	
諸収入・その他	5億4,865万円	
繰 入 金	5億6,158万円	
町 債	8億3,680万円	
合 計	80億2,261万円	



一般会計歳出		R4決算額
議 会 費	7,334万円	
総 務 費	11億6,970万円	
民 生 費	20億8,597万円	
衛 生 費	8億1,828万円	
労 働 費	47万円	
農林水産業費	3億2,379万円	
商 工 費	1億6,827万円	
土 木 費	9億6,366万円	
消 防 費	2億3,508万円	
教 育 費	7億5,200万円	
災 害 復 旧 費	2,835万円	
公 債 費	5億3,000万円	
諸 支 出 金	3億9,944万円	
合 計	75億4,835万円	



歳出の主なもの	説明
議 会 費	議会運営などに使われるお金
総 務 費	財産管理・広報防災・徴税・戸籍・統計などに使われるお金
民 生 費	子どもや高齢者、障害者等の社会福祉などに使われるお金
衛 生 費	保健衛生、環境衛生、ごみ処理などに使われるお金
農林水産業費	農林水産業の振興に使われるお金
商 工 費	商工観光の振興に使われるお金
土 木 費	道路、河川、住宅などに使われるお金
消 防 費	消防、災害対策などに使われるお金
教 育 費	学校教育や生涯学習、文化・スポーツの振興などに使われるお金
公 債 費	町の借入金の返済のために使われるお金
諸 支 出 金	財政調整基金など基金へ積み立てるお金

歳入の主なもの	説明
町 税	町が課税し納付される税金
譲与税・交付金	国税として徴収したものを、国が一定の基準により、町に対して譲与・交付されるお金
地方交付税	全国の市町村が同水準の行政事務を行えるよう国から交付されるお金
分担金・負担金	町の事業に対し利益を受ける人などから納付されるお金
国・県支出金	国や県からの補助金や委託金
財産収入	町が所有する財産(土地など)を貸付けたり、売却することなどによるお金
繰 入 金	基金から一般会計に受け入れるお金
町 債	町の借入金

会計別	R4決算額		差引 (歳入 - 歳出)	
	歳入	歳出		
一般会計	80億2,261万円	75億4,835万円	4億7,426万円	
特別会計	国民健康保険	13億9,145万円	13億6,553万円	2,592万円
	国民健康保険診療所	1,357万円	1,197万円	160万円
	介護保険	12億5,176万円	12億1,927万円	3,249万円
	後期高齢者医療	1億8,680万円	1億8,664万円	16万円
	小 計	28億4,358万円	27億8,341万円	6,017万円
水道事業会計	収益的収支	4億 812万円	2億8,058万円	1億2,754万円
	資本的収支	4億5,824万円	6億8,103万円	△ 2億2,279万円
	小 計	8億6,636万円	9億6,161万円	△ 9,525万円
公共下水道事業会計	収益的収支	9億2,206万円	8億2,758万円	9,448万円
	資本的収支	1億5,856万円	5億2,910万円	△ 3億7,054万円
	小 計	10億8,062万円	13億5,668万円	△ 2億7,606万円
合 計	128億1,317万円	126億5,005万円	1億6,312万円	

※水道事業会計、公共下水道事業会計の資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額は損益勘定留保資金等で補てんしました。

## 「医療・福祉」が充実したやさしいまち

感染症の発症や重症化を防ぐため、各種予防接種や結核検診を実施するとともに、小児の季節性インフルエンザワクチンについて中学生までを対象とし実施しました。

町立診療所では、「もの忘れ外来」の診療を行い、地域包括支援センターや地域医療機関と連携し、認知症の早期発見と早期治療に努めました。また、住み慣れた地域で早期に療育が受けられる体制を整えるため、「小児発達専門外来」を開設し、月1回の診療を行いました。

乳幼児などの福祉医療に加えて、町独自で高校生までの医療費(1医療機関あたり月ごと自己負担額1日800円、2日以上1,600円を控除した額)を助成しました。

妊娠期から出産・子育てまで一貫して相談に応じ、さまざまなニーズに即した必要な支援につなぐ伴走型の相談支援を充実し、経済的支援を一体として実施しました。

75歳以上の在宅の高齢者および要件を満たす障害者を対象に外出支援タクシー券を配布しました。

## 「教育・文化」で輝くまち

将来を担う有用な人材の育成・支援を目的として、申請者の中から成績などを勘案し選考を行い、令和4年度は対象者を7名に拡充し、羽ばたき若者人材育成奨学金の給付を行いました。

小中学生を持つ家庭の子育て支援として町内の小中学校に在籍する児童生徒の給食費について、学校給食費負担軽減事業として第1子20%、第2子40%に加え、第3子以降を100%に拡充して補助を行いました。

芸術文化事業として、小学校4・5年生を対象に長崎県青少年劇場による舞台芸術の鑑賞の場を設け、芸術・文化に触れあう機会を提供しました。また、西九州させば広域都市圏における連携事業として、小学校5・6年生を対象にアルカスSASEBOにおいて音楽鑑賞体験教室を、中学生を対象に島瀬美術センターで美術展覧会を開催しました。

町内小学校において、老朽化したバスケットゴールの補強工事を行い、耐震化を図りました。

## 「生活・安全」を大切にすまち

佐々町都市公園施設長寿命化計画に基づき、羽須和第1公園など計7公園の遊具の更新工事を実施しました。

道路の維持管理については、道路橋定期点検業務委託や橋梁長寿命化対策工事詳細設計業務、町道改良工事調査測量設計業務、町道赤崎線道路改良工事、町道神田線(中川原地区)歩道整備工事の測量設計などを行いました。

公営住宅の維持管理については、佐々町公営住宅等長寿命化計画に基づき、市瀬第2団地や牧崎団地新C棟等の外壁改修工事などを行い適切な維持管理に努めました。

し尿および浄化槽汚泥の安定した処理を行うため、し尿等前処理施設の建設に向けて発注までの一連の流れについてアドバイザー業務を委託し、工事についても条件付き一般競争入札により設計・施工監理業者を決定し着手しました。

大新田排水機場機能保全計画に基づき、3号排水ポンプの分解・整備及び建屋の外壁修繕を実施しました。

指定避難所に指定している公共施設に公衆無線LANを整備し、災害時に利用者が情報収集できる環境の整備に取り組みました。

## 「自然・環境」を守りつづけるまち

ごみの減量化および資源化の拠点となる佐々クリーンセンターの老朽化した設備の機能回復と、設備・機器の保全を行うため循環型社会形成推進交付金を活用し基幹設備改良工事を実施しました。

省エネルギー活動の推進においては、CO2排出量を削減する取り組みとして県下一斉スマートムーブウィークに取り組みました。また、地球温暖化防止に対する意識啓発を図るため、親子でエコチャレンジ事業を実施しました。

## 「産業・観光」でにぎわうまち

農業生産環境の整備については、高騰している農業用肥料・粗飼料購入費の一部を補助し、町内農業者を支援しました。

新規就農者支援事業として、農業を始めてから経営が安定するまでの間(最長5年)の収入保障として農業次世代人材投資事業費補助金を交付しました。また、新規就農者の経営安定化を図るため経営基盤の整備に係る多額の初期投資に対し、ながさき農林業・農山村構造改善加速化事業費補助金を交付しました。

東京圏からの移住者で、長崎県が指定する企業などに就職された方や創業された方を対象に移住支援金を助成し、移住促進を図り人口減少対策に努めました。令和3年度にテレワークによる移住および関係人口における条件拡充を行っており、令和4年度はテレワークによる移住者へ補助を行いました。また、県外から佐々町へ転入される子育て世帯の方を対象に、佐々町子育て世帯移住支援補助金を創設し4件の補助を行いました。

## 「行政・財政」が持続可能なまち

災害時に行政サービスが継続できる防災拠点としての庁舎の早期整備を図るため、新庁舎の本体工事に着手しました。また、新庁舎建設工事を円滑に進めるため、先行して庁舎別館の解体工事を行い、併せて、教育委員会、農業委員会を庁舎本館へ移設しました。

総合計画に位置づける施策の推進、効率的かつ機能的な組織編制による事業推進体制の強化、職員および職場の活性化を目的として機構改革を行い、新たな組織体制で動き出しました。

現金を介した新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止および来庁者・施設利用者の利便性向上を図るため、各種手数料・教育施設使用料において、キャッシュレス決済を導入しました。

## 「情報共有・協働」のみんなのまち

LINE、広報さざ、NBCデータ放送などの広報手段を活用し、行政情報や町民生活に関する情報を発信しました。LINEについては、チャットボット機能(行政手続きの自動応答機能)のシステムを導入し、ごみ分別のチャット回答機能の適用を行い利便性の向上に努めました。

ふるさと納税制度では、返礼品提供事業者の新規開拓や定期便設定による寄附単価の増額を図り、歳入の確保に努めました。また、企業版ふるさと納税については、令和3年度に導入し、令和4年度は1件の寄附をいただき、学力向上対策事業に活用しました。

人権問題・男女共同参画の啓発においては、教育委員会主催の明生大学講座とさざんか教室の合同講座を開催し、人権啓発活動に取り組みました。また、男女共同参画に関する理解が深まるよう、啓発コラムの広報紙掲載や各種相談窓口の周知に取り組みました。

## 町民一人あたりに換算すると…【一般会計決算額】

歳入		歳出	
町税	117,673円	財産収入	2,355円
譲与税・交付金	33,956円	諸収入・その他	39,058円
地方交付税	125,120円	繰入金	39,979円
分担金・負担金	2,748円	町債	59,571円
使用料・手数料	14,119円		
国庫支出金	92,400円		
県支出金	44,147円		
<b>歳入合計</b>	<b>571,126円</b>		

議会費	5,221円	土木費	68,603円
総務費	83,271円	消防費	16,735円
民生費	148,499円	教育費	53,535円
衛生費	58,253円	災害復旧費	2,018円
労働費	33円	公債費	37,730円
農林水産業費	23,051円	諸支出金	28,436円
商工費	11,979円		
<b>歳出合計</b>	<b>537,364円</b>		

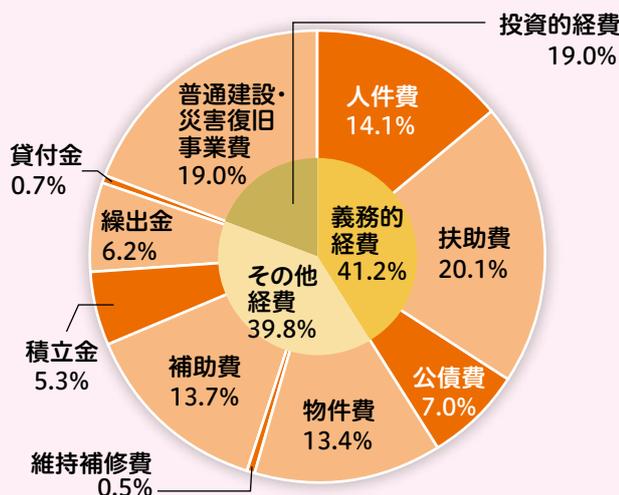
基金(一般会計) 361,462円 <預金>

町債(一般会計) 325,530円 <借金>

※令和5年3月31日現在の人口 14,047人

※令和5年3月末現在の住民基本台帳人口(14,047人)を基に町民一人当たりの決算額を計上しています。

## 一般会計歳出／性質別の状況



## 【主な投資的事業】

事業名	R4年度決算額
庁舎建設事業	4億2,763万円
町営住宅屋根外壁改修工事	1億6,613万円
道路新設改良事業	1億5,781万円
大新田排水機場補修事業	1億4,679万円
町民体育館屋根外壁改修工事	1億1,775万円
佐々クリーンセンター基幹的設備改良事業	5,150万円
口石小学校校舎屋上防水工事	3,643万円
公園施設長寿命化工事	3,286万円
地域交流センター1階多目的室空調設備設置工事	2,395万円
新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業 (避難所公衆無線LAN整備工事、 健康相談センタータイルカーペット取替工事など)	2,873万円

区分	歳出の内訳(性質別)	R4決算額
義務的経費	人件費(町職員の給与、町長や議員など特別職の報酬、会計年度任用職の給与など)	10億6,046万円
	扶助費(住民税非課税世帯等への臨時特別給付金、福祉医療費の助成、児童手当など)	15億2,084万円
	公債費(国や金融機関から借りたお金の返済金)	5億3,000万円
	小計	31億1,130万円
その他の経費	物件費(公共施設の光熱水費、予防接種委託料、町民の健康診断委託料など)	10億 774万円
	維持補修費(公共施設の維持補修費など)	3,717万円
	補助費等(下水道事業会計補助金、広域消防負担金、各種団体への補助金や負担金など)	10億3,655万円
	積立金(基金への積立)	3億9,938万円
	繰出金(国民健康保険や介護保険などの特別会計への支出)	4億6,898万円
	貸付金(中小企業振興資金融資制度預託金など)	5,043万円
	小計	30億 25万円
投資的経費	普通建設・災害復旧事業費(施設の建設・改修費、道路などの災害復旧整備など)	14億3,680万円
	合計	75億4,835万円

義務的経費／支出が義務づけられ任意に節減できない経費

投資的経費／支出の効果が資本形成に向けられ、将来に残るものに支出される経費

## 町債の状況

町債とは、道路、公共施設の建設や下水道施設整備などの事業を行うときに必要な資金を、国や金融機関から借り入れる町の借金です。

### 【町債の現在高】

区分	R4年度末現在高
一般会計	45億7,272万円
水道事業会計	9億6,948万円
公共下水道事業会計	33億9,908万円
合計	89億4,128万円

### 【左記のうち、令和4年度に新たに借り入れた主な町債】

区分	町債の内容	借入額
一般会計	臨時財政対策債	6,810万円
	市町村役場機能緊急保全事業	3億2,710万円
	ごみ処理施設基幹的設備改良事業	2,660万円
	農業水路等長寿命化・防災減災事業	3,780万円
	橋梁長寿命化対策事業	1,240万円
	長寿命化事業(道路舗装補修事業)	1,650万円
	自然災害防止事業(道路防災事業)	2,840万円
	公営住宅改修事業	5,960万円
	消防詰所新築事業	1,230万円
	長寿命化事業(口石小学校屋上防水事業)	3,270万円
	地域交流センター空調設備設置事業	2,390万円
	長寿命化事業(町民体育館屋根外壁改修事業)	1億 590万円
	その他	8,550万円
	小計	8億3,680万円
水道事業会計	新平野配水池築造事業など	4億5,050万円
公共下水道事業会計	し尿等前処理施設建設事業など	7,110万円
合計	13億5,840万円	

臨時財政対策債／国からの地方交付税の不足分を補うために自治体が借り入れるお金です。返済に係るお金は後年の国からの地方交付税に算入されます。

## 財産の状況

区分	R4年度末現在高
土地	2,492,391㎡
うち山林	1,491,930㎡
建物	86,286㎡
有価証券	415万円
出資による権利	3,646万円
債権(貸付金)	7,456万円
基金(全会計)	57億6,003万円